

製品に関するよくあるご質問についてFAQ形式でお答えいたします。

1. サーバの起動について

- ❖ [1. ビデオ会議サーバが起動しません。](#)
- ❖ [2. ログイン画面が表示されません。
会議に入室できません。](#)
- ❖ [3. ビデオ会議サーバの現在の設定値を確認するには、どうすればよいですか？](#)

[このページのトップへ](#)

2. サーバの導入手順について

- ❖ [1. サーバ証明書のインポートは必須ですか？](#)
- ❖ [2. ライセンスキーをインポート時、エラーが表示されます。](#)
- ❖ [3. PostgreSQLをインストールする際の注意点はありますか。](#)
- ❖ [4. PostgreSQLのインストール中に「pgOleDb.dllの登録に失敗した」のメッセージが表示されます。](#)
- ❖ [5. WindowsでPostgreSQLをインストール中にエラーとなります。](#)
- ❖ [6. PostgreSQLのバキュームとはなんですか？](#)

[このページのトップへ](#)

3. クライアントの起動・動作について

- ❖ [1. クライアントモジュールがインストールできません。
\(ページが\[x\]になる。\)](#)
- ❖ [2. クライアントモジュールをインストール（アップデート）時、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」のメッセージが表示されます。](#)
- ❖ [3. Internet Explorerのコンポーネントを使ったブラウザで、クライアントが正しく動作しません。](#)
- ❖ [4. 入室すると「サーバの開始処理でエラーが発生しました。」のメッセージが表示されます。](#)
- ❖ [5. 入室すると「設定ファイルのダウンロードでエラーが発生しました。\[0x00000001, 0x80070003\]」のメッセージが表示されます。\(Windows Vista\)](#)
- ❖ [6. 録画可能なルームに入室するとエラーページ\(recording option is not valid\)が表示されます。](#)

[このページのトップへ](#)

回答：1. サーバの起動について

1. ビデオ会議サーバが起動しません。

 原因として、以下のものが考えられます。

- 設定ツールで指定したポートが既に使用されている。
→対応：設定編集ツールの基本設定で未使用のポート番号を再設定して下さい。
または、該当のポートを使用しているアプリケーションを終了して下さい。
- 必要なライブラリが見つからない。
→対応：ライブラリのインストールやシンボリックリンクの設定を行い、ライブラリを使用できるようにして下さい。



2. ログイン画面が表示されません。 会議に入室できません。



原因として、以下のものが考えられます。

- ビデオ会議サーバが正しく起動していない可能性があります。
→対応：サーバの起動を確認して下さい。
- ネットワーク構成によりビデオ会議サーバに接続できない可能性があります。
→対応：ネットワーク構成を確認して下さい。
- サーバのファイアウォールが有効になっている可能性があります。
→対応：サーバのファイアウォール設定を確認して下さい。
- 設定編集ツールの基本設定で、「ビデオ会議開始時にデータを暗号化して送信しますか？」に「n」を選択している。
かつ、「サーバのhttpポートをローカルからのみアクセスできるようにしますか？」に「y」を選択している。
→対応：いずれかの設定を変更して下さい。
- データベースの作成を行っていない、または、データベースに関する設定が正しくない
→対応：PostgreSQLのデータベースの作成を行っていない場合は、作成して下さい。
→対応：Web会議システムの setpath.bat/setpath.sh 中のデータベースに関する設定を確認して下さい。
→対応：Web会議システムの設定ツールで、データベースに関する設定を確認して下さい。
設定ツールや設定編集ツールで設定を変更した場合には、必ずビデオ会議サーバを再起動して下さい。



3. ビデオ会議サーバの現在の設定値を確認するには、どうすればよいですか？



- ビデオ会議サーバの稼働中の設定情報を確認したい。
→対応：以下のsetpath.bat（Windowsの場合）を実行した環境で、以下のコマンドを入力して下さい。
 - Linuxの場合 # sh ./wvmctl.sh status
 - Windowsの場合 > wvmctl.bat status
- ビデオ会議サーバの現在の設定を確認したい。
→対応：設定編集ツールを起動して下さい。

[* このページのトップへ](#)

回答：2.サーバの導入手順について



1. サーバ証明書のインポートは必須ですか？



いいえ。

必須ではありませんが、HTTPSプロトコルを使用する場合は、証明書をインポートすることをおすすめします。証明書のインポートを行わないとInternet Explorerの警告ダイアログが表示されることがあります。



2. ライセンスキーをインポート時、エラーが表示されます。



原因として、以下のものが考えられます。

- サーバライセンスをインポートせずに、追加同時接続ライセンスをインポートしている。
→対応：サーバライセンス、追加同時接続ライセンスの順番でインポートして下さい。



3. PostgreSQLをインストールする際の注意点はありますか？

⇒ Windowsでは、NTFSのパーティションにインストールして下さい。（FATのパーティションでは、データベースが正しく初期化されないことが確認されています。）

? 4. PostgreSQLのインストール中に「pgOleDb.dllの登録に失敗した」のメッセージが表示されます。

⇒ サーバPCにMSVP60.dllが存在していない場合に表示されます。
→対応:インストールを中止し、以下の作業を行った後、再度インストールを行って下さい。

1. 付属のvc6redistsetup_jpn.exeを実行します。
2. 展開されたvcredist.exeをコマンドラインから「vcredist.exe /C」と実行します。
3. 複数のdllファイルが展開されますので、その中にあるMSVP60.dllをコピーして、システムフォルダ¥WINNT¥SYSTEM32 直下に配置して下さい。

PostgreSQLの導入・運用・保守についての詳細はPostgreSQL付属のドキュメントもご参照下さい

? 5. WindowsでPostgreSQLをインストール中にエラーとなります。

⇒ 原因として、以下のものが考えられます。

- リモートデスクトップを利用してインストールを行った場合、エラーになることが確認されています。
→対応:リモートデスクトップを使わず、インストールを行って下さい。
- アカウントの大文字小文字を区別せずにWindowsにログインした場合、エラーになることが確認されています。
→対応:大文字小文字を区別してログインした後、再度インストールを行って下さい。

PostgreSQLの導入・運用・保守についての詳細はPostgreSQL付属のドキュメントもご参照下さい

? 6. PostgreSQLのバックアップとはなんですか？

⇒ PostgreSQLでは、バックアップとよばれる定期的なメンテナンスが必要です。
バックアップを実行することにより、データベースを最適な状態に保つことができます。
詳しくはマニュアルをご覧ください。

PostgreSQLの導入・運用・保守についての詳細はPostgreSQL付属のドキュメントもご参照下さい

[このページのトップへ](#)

回答：3.クライアントの起動・動作について

? 1. クライアントモジュールがインストールできません。 (ページが[x]になる。)

⇒ 原因として、以下のものが考えられます。

- ActiveXコントロールのダウンロードや実行などが禁止されている可能性があります。
→対応：Internet Explorerまたはセキュリティソフトの設定をご確認下さい。（Internet Explorerの設定は、操作マニュアルをご覧ください。）
- Windowsログインユーザーの権限の可能性があります。
→対応：クライアントモジュールのインストールには、Administrator権限が必要です。

? 2. クライアントモジュールをインストール（アップデート）時、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」のメッセージが表示されます。

⇒ クライアントモジュールのインストール（アップデート）を正常に終了するために、[はい] ボタンを押して再起動を行って下さい。

? 3. Internet Explorerのコンポーネントを使ったブラウザで、クライアントが正しく動作しません。

⇒ Internet Explorerのコンポーネントを使ったブラウザでの動作は、サポートしておりません。

? 4. 入室すると「サーバの開始処理でエラーが発生しました。」のメッセージが表示されます。

⇒ 原因として、以下のものが考えられます。

- ビデオ会議サーバの最大ユーザー数がルームの定員未満になっている。
→対応:ビデオ会議サーバの設定を確認して下さい。「2.オプション設定」 - 「1 会議室に参加できる最大ユーザー数」をルームの定員以上の値に設定する必要があります。
→対応:または、ルームの定員を最大ユーザー数以下に変更して下さい。
- 傍聴機能の設定が有効になっていない。
→対応:ビデオ会議サーバの設定を確認して下さい。「4.エクステンション設定」 - 「オーディエンスキットの(カスケード)接続の受入」を「y」に設定する必要があります。

? 5. 入室すると「設定ファイルのダウンロードでエラーが発生しました。[0x00000001, 0x80070003]」のメッセージが表示されます。(Windows Vista)

⇒ 原因として、以下のものが考えられます。

- Windows Vistaの環境で確認されています。
→対応:一度WindowsサイドバーまたはWindowsフォトギャラリーを起動するかIE保護モードを無効化することにより、次回の入室から正しく動作します。

? 6. 録画可能なルームに入室するとエラーページ(recording option is not valid)が表示されます。

⇒ ビデオ会議サーバの設定を確認して下さい。「4.エクステンション設定」 - 「レコーディングキットの接続の受入」を「y」に設定する必要があります。

[* このページのトップへ](#)